

肺がん検診のためのチェックリスト(検診実施機関用)－集団検診・個別検診

健一般社回法センタ	臨床検査セ	一和温泉病	石和温泉病	医療法人石和温泉病	医療法人石和温泉病	公益財団法人山梨県健康管理事業団	公益財団法人山梨県厚生会	山梨県厚生連健康管理センター	山梨県厚生連健康管理センター	赤坂台病	甲府公立病	石和共立病	健南医セ	宮川病	医療法人弘済会	竜王リハビリテーション病	塩山市民病	甲州市立勝沼病	竜王共立診療所	甲府城南病	城東病	国立病院機構甲府病	産婦人科医	加納岩総合病	大月市立中央病	上野原市立病	都留市立病	一宮温泉病	高原会高原病	白根徳洲会病	巨摩共立病	身延町・早川町組合立飯富病	恵信市立病	葦崎市国民健康保険	山梨赤十字病	国民健康保険富士吉田市立病	北杜市立塩川病	石和温泉病
-----------	-------	-------	-------	-----------	-----------	------------------	--------------	----------------	----------------	------	-------	-------	------	-----	---------	--------------	-------	---------	---------	-------	-----	-----------	-------	--------	---------	--------	-------	-------	--------	--------	-------	---------------	-------	-----------	--------	---------------	---------	-------

※1…チェックリストへの回答を依頼したが返答がなかったもの
 ※2…チェックリストへの回答があったが、該当のがん検診を実施していない等で対象外となるもの

回答の有無(◎…回答あり ×…未回答※1 △…調査対象外※2)

(6)プロセス指標値やチェックリストの遵守状況に基づいて、自施設の精度管理状況を評価し、改善に向けた検討を行っているか。また、都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市区町村、医師会等から指導・助言等があった場合は、それを参考にして改善に努めているか	×	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	△	×	×	△	○	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×	×	△	×	△	×	△	×
チェックリスト実施率	66%	97%	70%	95%	100%	89%	100%	100%	対象外	92%	82%	39%	100%	74%	対象外	0%	0%	対象外	70%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%		

解説：
 ①このチェックリストの対象は、委託元市区町村との契約形態にかかわらず、「実際に検診を行う個々の検診機関(医療機関)」である
 ②検診機関が単独で実施できない項目については、関係機関と連携して実施すること

【このチェックリストにより調査を行う際の考え方】
 ①基本的には、実際の検診を行う個々の検診機関(医療機関)が回答する
 ②自治体※や医師会主導で行っている項目(自治体や医師会しか状況を把握できない項目)については、あらかじめ、自治体や医師会が全検診機関(医療機関)に回答を通知することが望ましい※※
 ただし医師会等が全項目を統一して行っている場合は、医師会等が一括して回答しても構わない
 ※このチェックリストで「自治体」と表記した箇所は、「都道府県もしくは市区町村」と解釈すること(どちらかが実施していればよい)
 ※※特に個別検診の場合

注1 肺がん診断に適切な胸部エックス線撮影：日本肺癌学会編集、肺癌取扱い規約 改訂第8版より
 背腹一方向撮影を原則とする。適切な胸部エックス線写真とは、肺尖、肺野外側縁、横隔膜、肋骨横隔膜角などを含むように正しく位置づけられ、適度な濃度とコントラストおよび良好な鮮鋭度をもち、中心陰影に重なった気管、主気管支の透亮像ならびに心陰影及び横隔膜に重なった肺血管が観察できるもの

注2 日本肺癌学会編集、肺癌取扱い規約 改訂第8版より
 1: 間接撮影の場合は、100mmミラーカメラと、定格出力150KV以上の撮影装置を用いて120KV以上の管電圧により撮影する。やむを得ず定格出力125KVの撮影装置を用いる場合は、110KV以上の管電圧による撮影を行い縦隔部の感度を肺野部に対して高めるため、希土類(グラデーショナル型)蛍光板を用いる。定格出力125KV未満の撮影装置は用いない
 2: 直接撮影(スクリーン・フィルム系)の場合は、被検者－管球間距離を150cm以上とし、定格出力150KV以上の撮影装置を用い、120KV以上の管電圧及び希土類システム(希土類増感紙＋オルソタイプフィルム)による撮影がよい。やむを得ず100～120KVの管電圧で撮影する場合も、被曝軽減のために希土類システム(希土類増感紙＋オルソタイプフィルム)を用いる
 3: 直接撮影(デジタル画像)の場合は、X線検出器として、輝天性蛍光体を塗布したイメージングプレート(IP)を用いたCRシステム、平面検出器(FPD)もしくは固定半導体(CCD、CMOSなど)を用いたDRシステムのいずれかを使用する。管球検出器間距離(撮影距離)150cm以上、X線管電圧120～140KV、撮影mAs値4mAs程度以下、入射表面線量0.3mGy以下、グリッド比8:1以上、の条件下で撮影されることが望ましい
 4: 撮影機器、画像処理、読影用モニタの条件については、下記のサイト(日本肺癌学会ホームページ、肺がん検診委員会からのお知らせ)に掲載された最新情報を参照すること
https://www.haigan.gr.jp/modules/kaiin/index.php?content_id=47

乳がん検診のためのチェックリスト(検診実施機関用)－集団検診・個別検診

※1…チェックリストへの回答を依頼したが返答がなかったもの
 ※2…チェックリストへの回答があったが、該当のがん検診を実施していない等で対象外となるもの

回答の有無(◎…回答あり ×…未回答※1 △…調査対象外※2)	健診・検査センター(甲府市医師会検査部)	一般社団法人富士吉田医師会	石和温泉病院	医療法人石和温泉病院	医療法人社団協友会笛吹中央病院	公益財団法人山梨県健康管理事業団	山梨厚生病院	山梨厚生病院	山梨県厚生連健康管理センター	赤坂台病院	医療法人甲斐会	甲府公立病院	山梨勤労者医療協会	石和共立病院	健診センター(富士川病院)	医療法人弘済会	宮川病院	滝王リハビリテーション病院	塩山市民病院	公益財団法人山梨厚生会	甲州市立勝沼病院	滝王共立診療所	甲府城南病院	城東病院	国立病院機構甲府病院	産婦人科医会	加納岩総合病院	大月市立中央病院	上野原市立病院	都留市立病院	一宮温泉病院	高原会高原病院	白根徳洲会病院	巨摩共立病院	身延町・早川町組合立飯富病院	恵信重崎相互病院	藤崎市国民健康保険	藤崎市立病院	山梨赤十字病院	国民健康保険富士吉田市立病院	北杜市立塩川病院	石和温泉病院							
(4) 撮影や読影向上のための検討会や委員会(自施設以外の乳がん専門家※を交えた会)を設置しているか。もしくは、市区町村や医師会等が設置した検討会や委員会に参加しているか ※当該検診機関に雇用されていない乳がん検診専門家	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	×	○	×				
(5) 自施設の検診結果について、要検査率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度等のプロセス指標値を把握※しているか ※解説のとおり、検診機関が単独で算出できない指標値については、自治体等と連携して把握すること。また自治体等が集計した指標値を後から把握することも可也	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(6) プロセス指標値やチェックリストの遵守状況に基づいて、自施設の精度管理状況を評価し、改善に向けた検討を行っているか。また、都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市区町村、医師会等から指導・助言等があった場合は、それを参考にして改善に努めているか	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
チェックリスト実施率	65%	96%	100%	96%	74%	91%	100%	100%	対象外	96%	対象外	74%	対象外	対象外	74%	0%	0%	対象外	対象外	0%	0%	対象外	対象外	0%	対象外	0%	0%	0%	0%	0%	対象外	0%	0%	0%	対象外	0%	87%	65%	0%	96%	0%	0%	0%	0%					

解説:
 ①このチェックリストの対象は、委託元市区町村との契約形態にかかわらず、「実際に検診を行う個々の検診機関(医療機関)」である
 ②検診機関が単独で実施できない項目については、関係機関と連携して実施すること

【このチェックリストにより調査を行う際の考え方】
 ①基本的には、実際の検診を行う個々の検診機関(医療機関)が回答する
 ②自治体※や医師会主導で行っている項目(自治体や医師会しか状況把握できない項目)については、あらかじめ、自治体や医師会が全検診機関(医療機関)に回答を通知することが望ましい※
 ※ただし医師会等が全項目を統一して行っている場合は、医師会等が一括して回答しても構わない
 ※このチェックリストで「自治体」と表記した箇所は、「都道府県もしくは市区町村」と解釈すること(どちらかが実施してはよい)
 ※※特に個別検診の場合

注1 乳がん検診に用いるエックス線装置の仕様基準:マンモグラフィによる乳がん検診の手引き第6版、マンモグラフィガイドライン第3版増補版参照

注2 乳房エックス線撮影、読影及び精度管理に関する基本講習プログラムに準じた講習会
 基本講習プログラムに準じた講習会とは、日本乳がん検診精度管理中央機構(旧マンモグラフィ検診精度管理中央委員会)の教育・研修委員会の行う講習会等を指す
 なお、これまで実施された「マンモグラフィ検診の実施と精度向上に関する調査研究」班、「マンモグラフィによる乳がん検診の推進と精度向上に関する調査研究」班、及び日本放射線技術学会乳房撮影ガイドライン・精度管理普及班による講習会等を含む

